

騒音

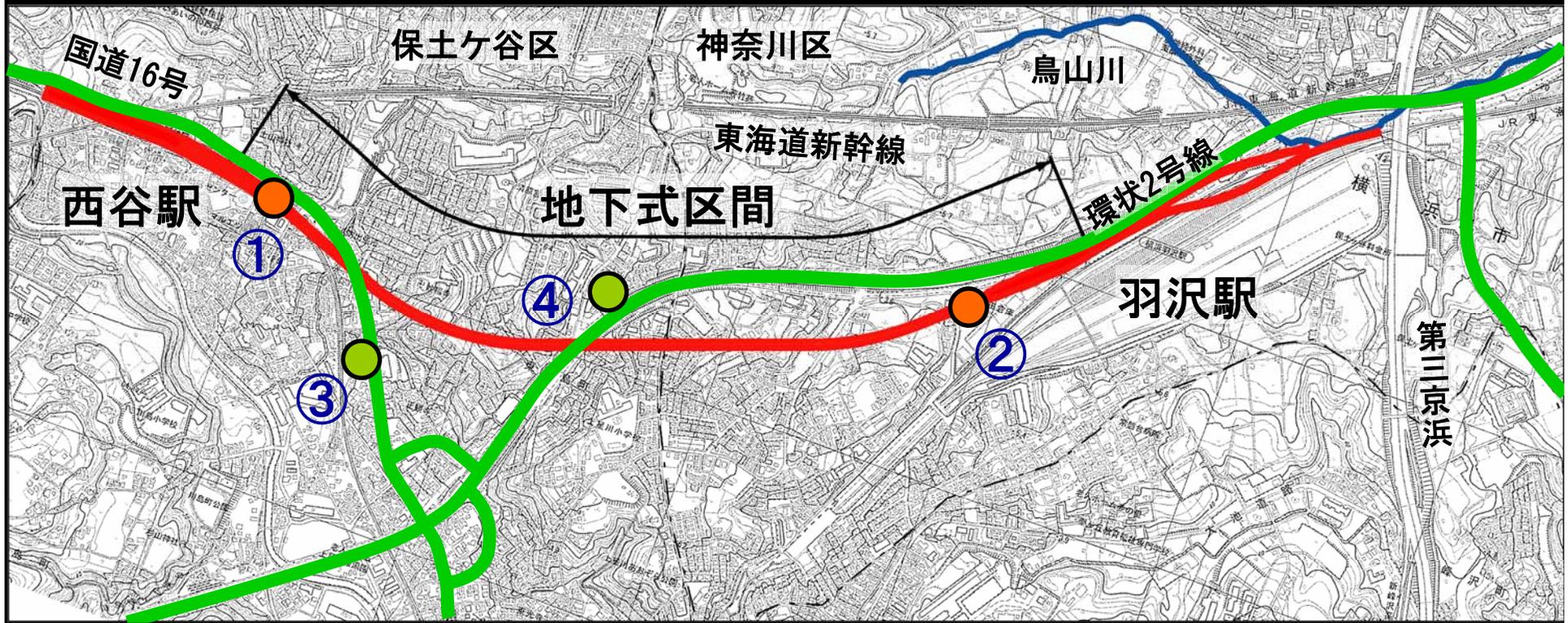
工事中

建設機械の稼働に伴う騒音
工事用車両の走行に伴う騒音

供用時

列車の走行（地上）に伴う騒音

予測地点（騒音（工事中））



凡例

- 予測地点（建設機械の稼働に伴う騒音）
- 予測地点（工事用車両の走行に伴う騒音）

予測結果（建設機械の稼働に伴う騒音）

単位：デシベル

予測地点	予測結果	環境保全目標※
①西谷駅付近	75~79	85以下
②羽沢駅付近	72~82	

※ 環境保全目標：騒音規制法に基づく特定建設作業騒音の規制基準

予測結果 (工事用車両の走行に伴う騒音)

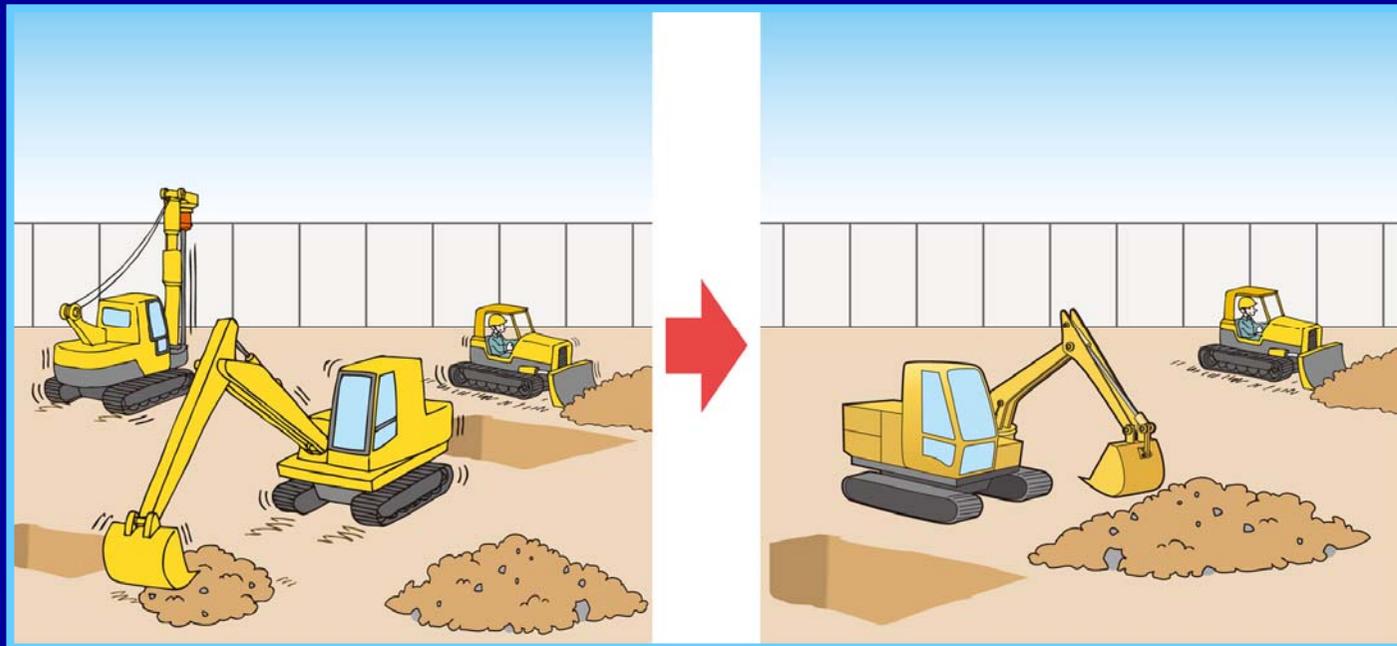
単位：デシベル

予測地点	現況値	工事用車両による寄与	予測結果
③国道16号	71	0	71
④環状2号線	70	0	70

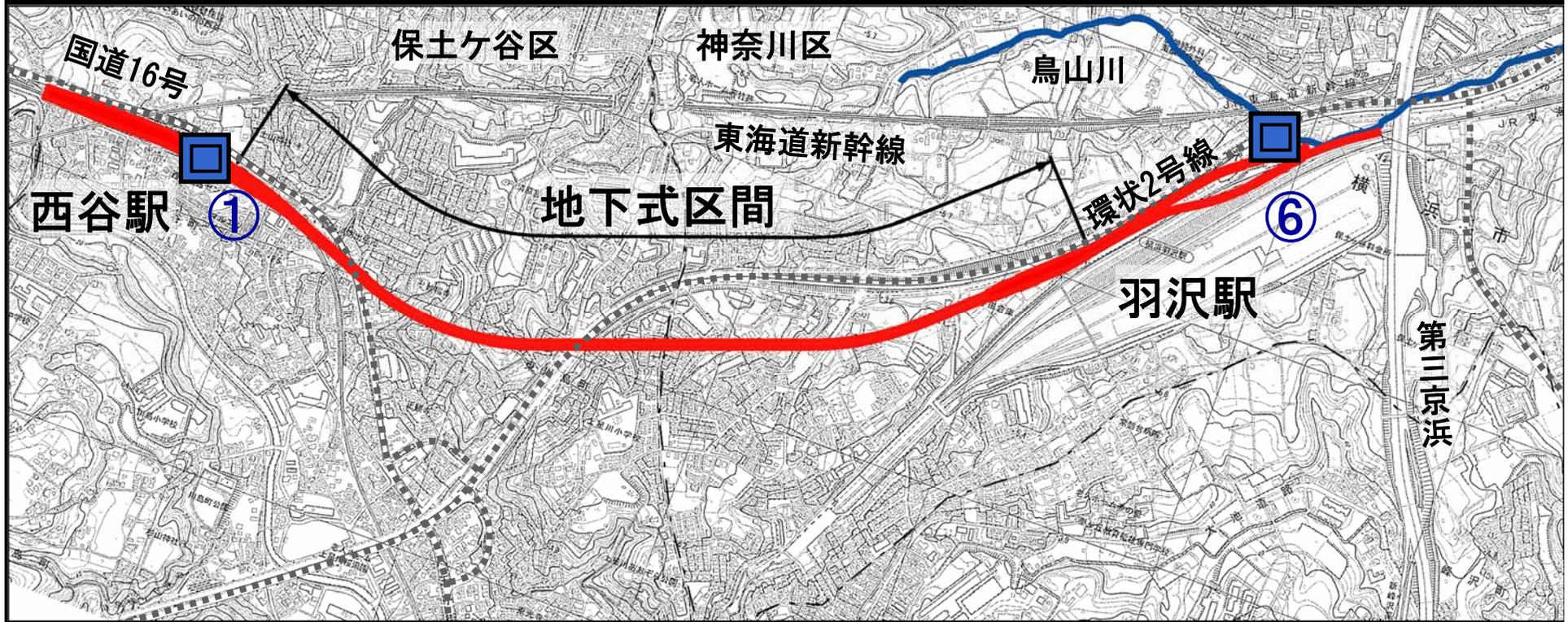
※ 環境保全目標：周辺の生活環境に著しい影響を与えないこと

環境保全のための措置の例 (騒音 (工事中))

アイドリングストップの推進や、過負荷運転の防止に努めることで騒音の低減を図ります。



予測地点（騒音（供用時））



凡例



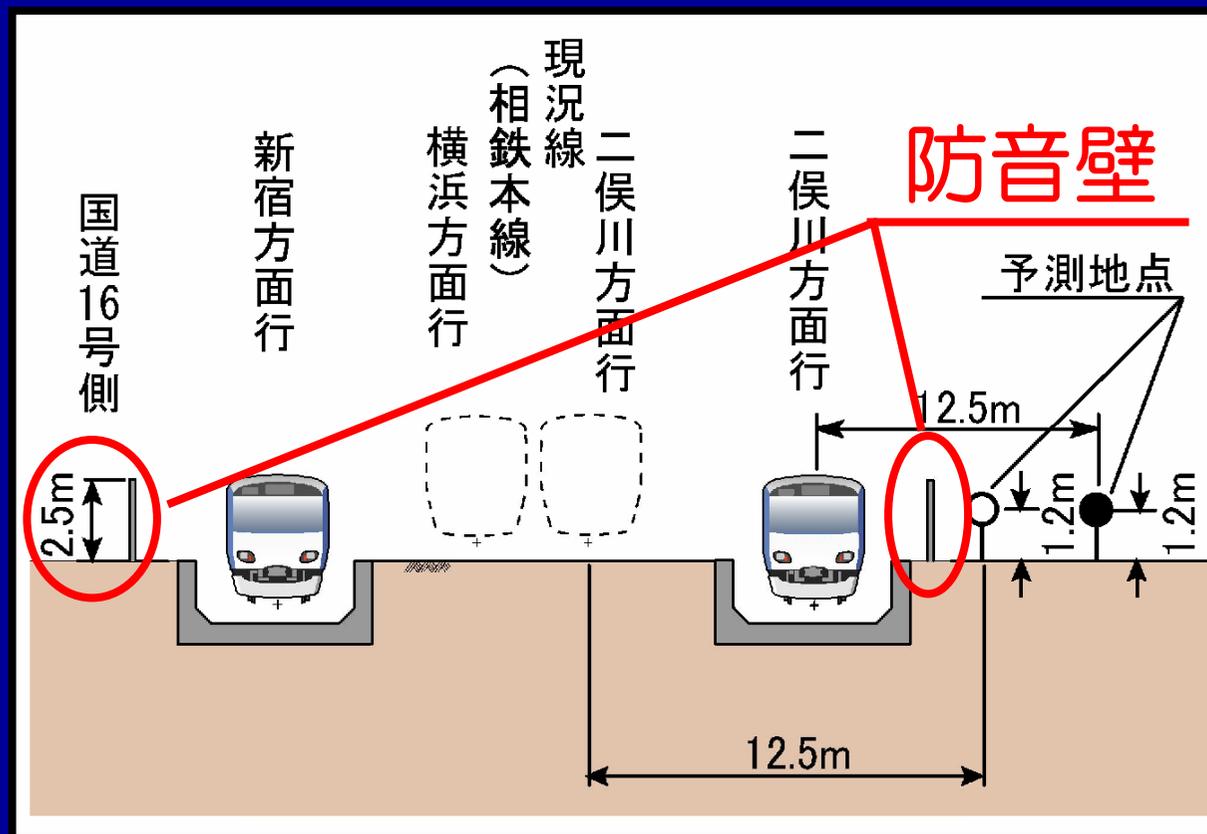
予測地点（鉄道騒音）

計画線のための鉄道騒音予測地点

現況線との鉄道騒音複合予測地点

予測断面図

① 西谷駅付近

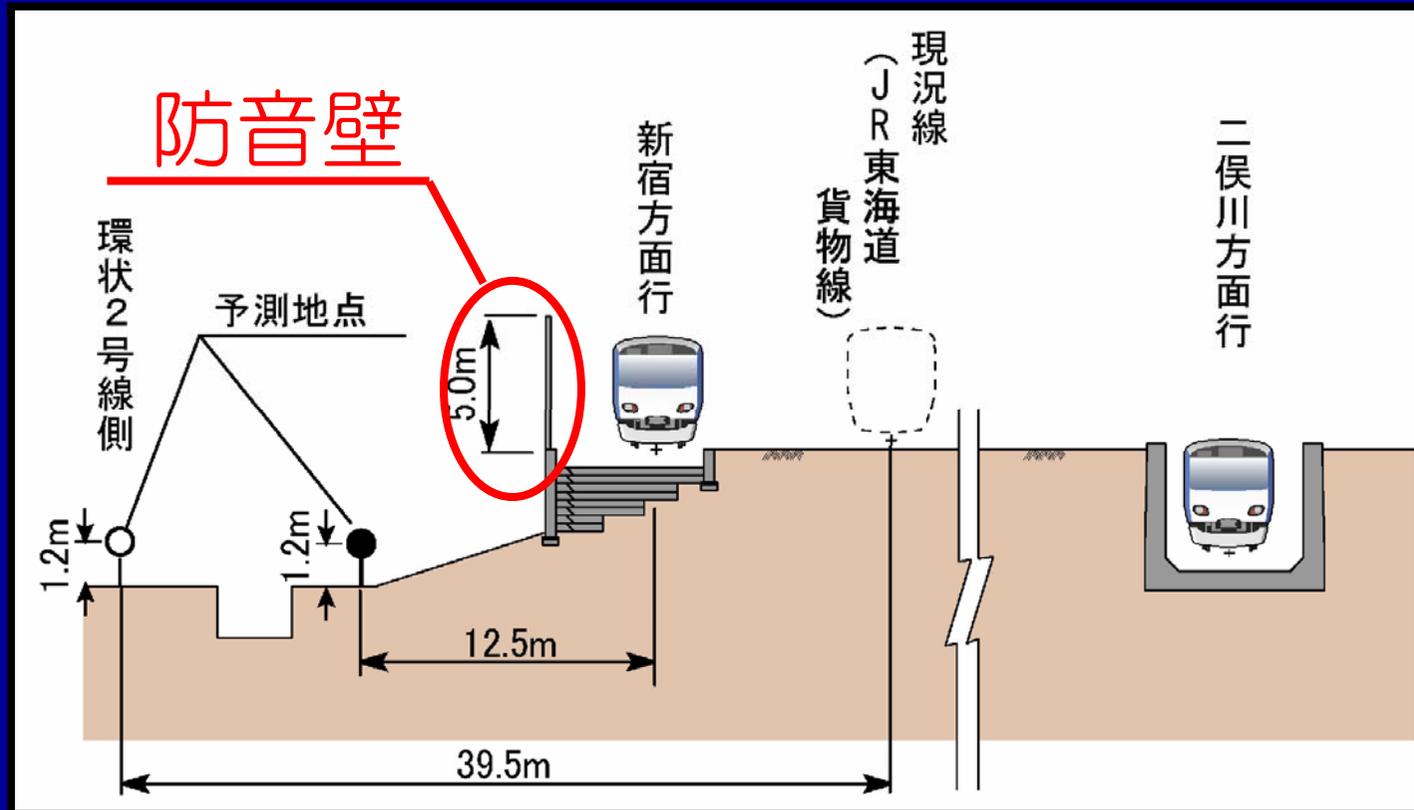


凡例

- 計画線のための鉄道騒音予測地点 (高さ1.2m)
- 現況線との鉄道騒音複合予測地点 (高さ1.2m)

予測断面図

⑥ 羽沢駅付近



凡例

- 計画線のための鉄道騒音予測地点 (高さ1.2m)
- 現況線との鉄道騒音複合予測地点 (高さ1.2m)

予測結果（列車の走行に伴う騒音）

計画線のみ

単位：デシベル

予測地点	予測結果		環境保全目標※	
	昼間	夜間	昼間	夜間
①西谷駅付近	57	54	60	55
⑥羽沢駅付近	44	41		

※ 環境保全目標：「在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について」における指針値

予測結果（列車の走行に伴う騒音）

複合騒音

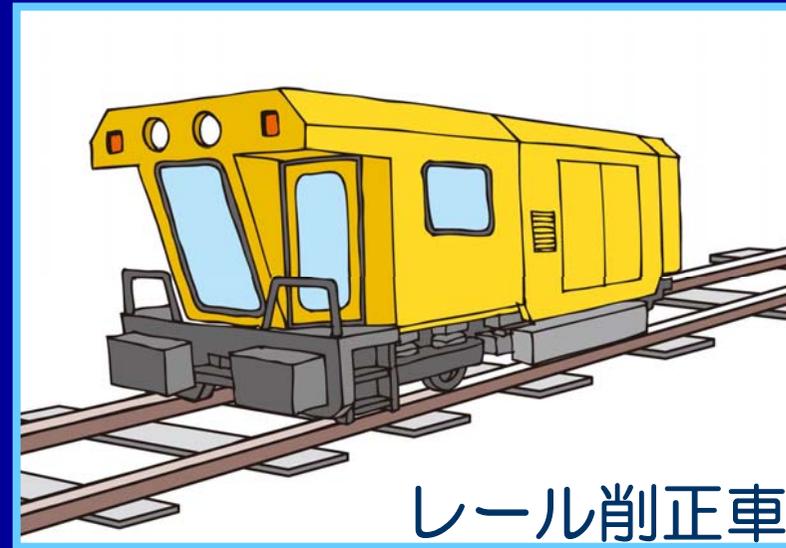
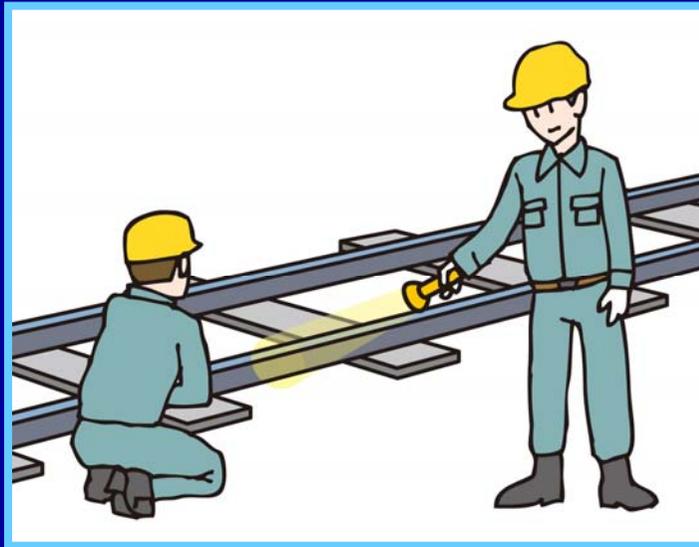
単位：デシベル

予測地点	予測結果		現況	
	昼間	夜間	昼間	夜間
①西谷駅付近	63	59	66	60
⑥羽沢駅付近	47	47	46	47

※ 環境保全目標：現況の鉄道騒音レベルと同程度

環境保全のための措置の例 (騒音 (供用時))

レール、車両の適切な点検・整備を行い、性能を維持することで過度な騒音の発生を防止します。



振 動

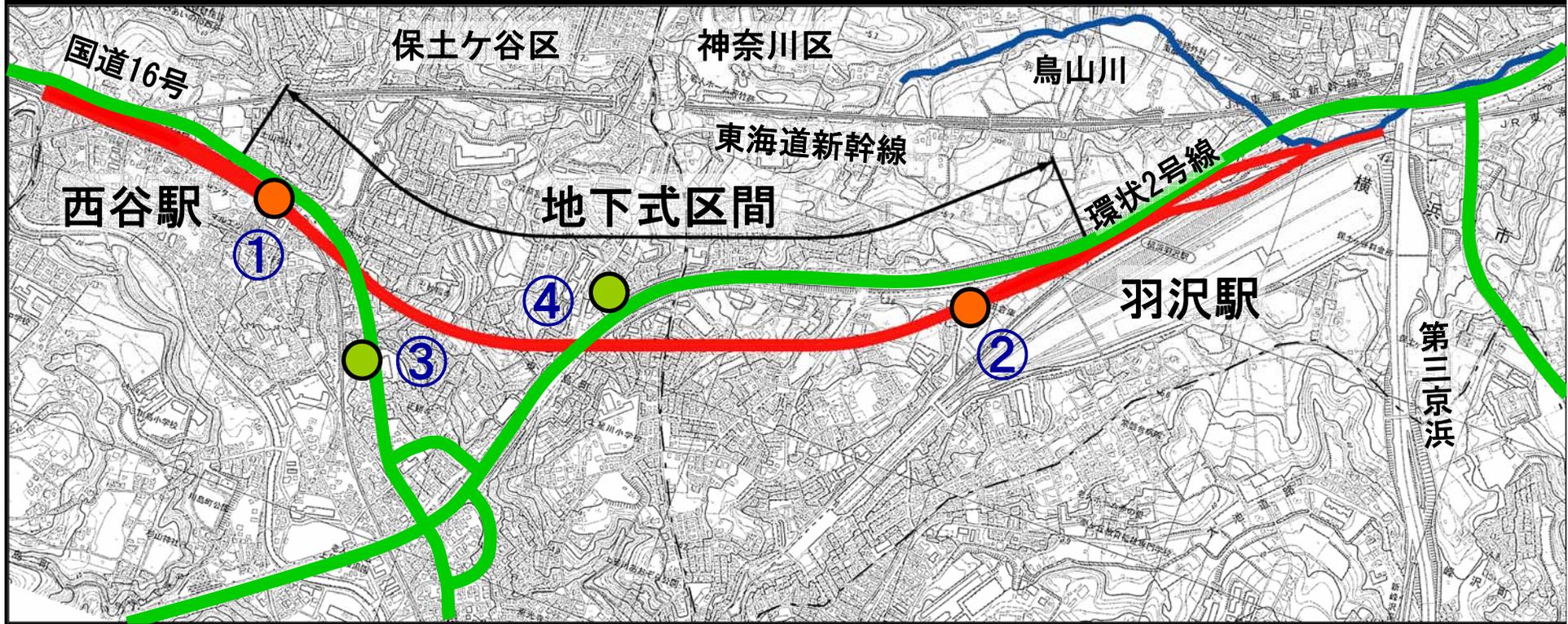
工事中

建設機械の稼働に伴う振動
工事用車両の走行に伴う振動

供用時

列車の走行に伴う振動

予測地点（振動（工事中））



凡例

- 予測地点（建設機械の稼働に伴う振動）
- 予測地点（工事用車両の走行に伴う振動）

予測結果（建設機械の稼働に伴う振動）

単位：デシベル

予測地点	予測結果	環境保全目標※
①西谷駅付近	42~72	75
②羽沢駅付近	42~72	

※ 環境保全目標：振動規制法に基づく特定建設作業の規制基準

予測結果

(工事用車両の走行に伴う振動)

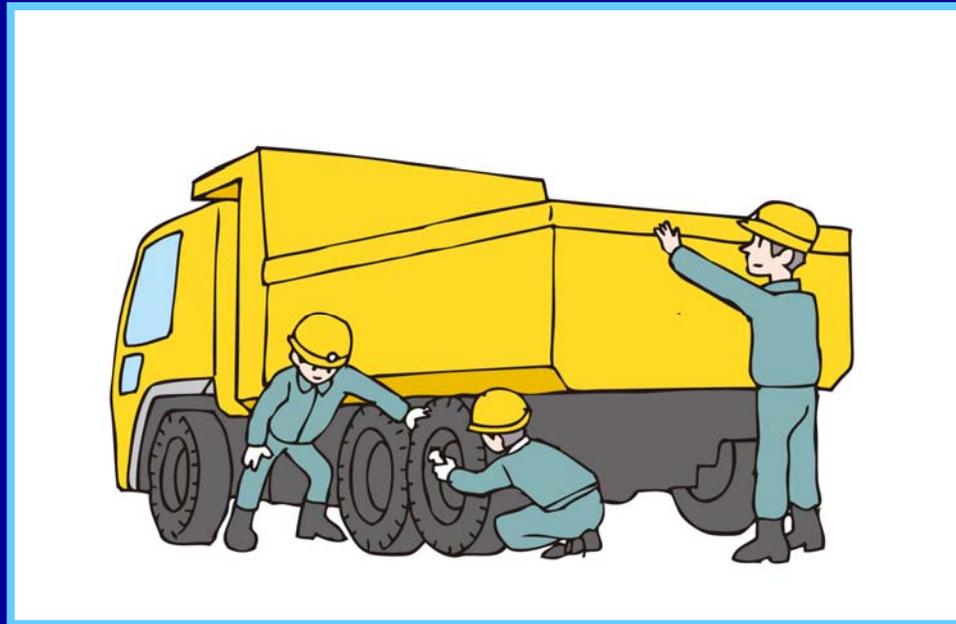
単位：デシベル

予測地点	現況値	工事用車両による寄与	予測結果	環境保全目標※
③国道16号	41	0	41	65
④環状2号線	50	0	50	

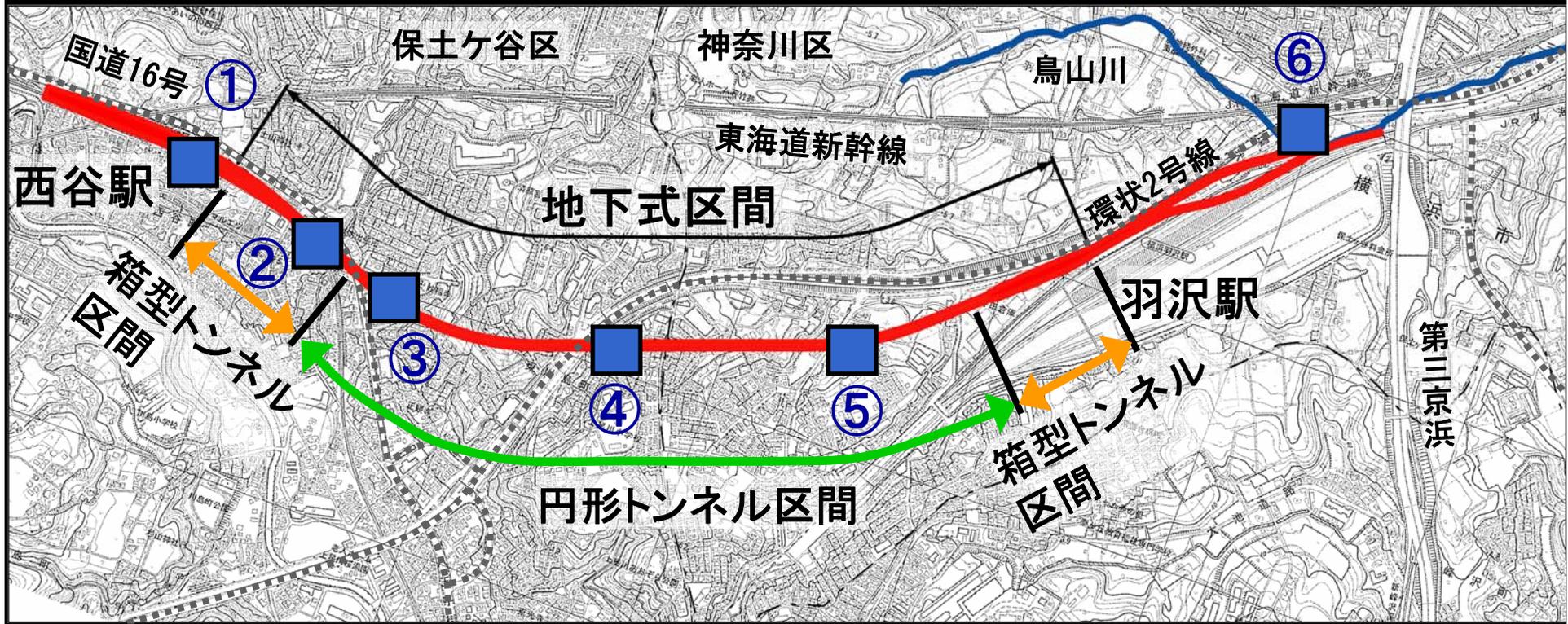
※ 環境保全目標：振動規制法に基づく道路交通振動に係る要請限度

環境保全のための措置の例 (振動 (工事中))

工事用車両の適切な点検・整備による性能維持や、車両及び走行ルート
の分散化により、振動の低減を図り
ます。



予測地点（振動（供用時））

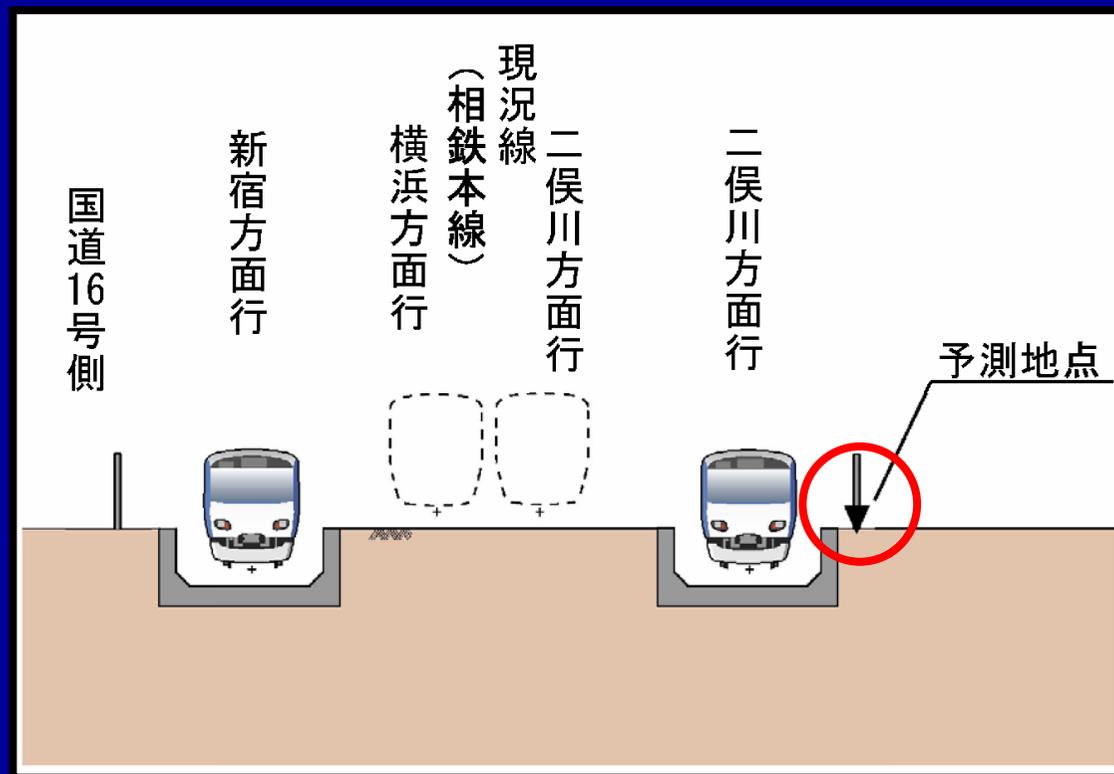


凡例

■ 予測地点（鉄道振動）

予測断面図

① 西谷駅付近

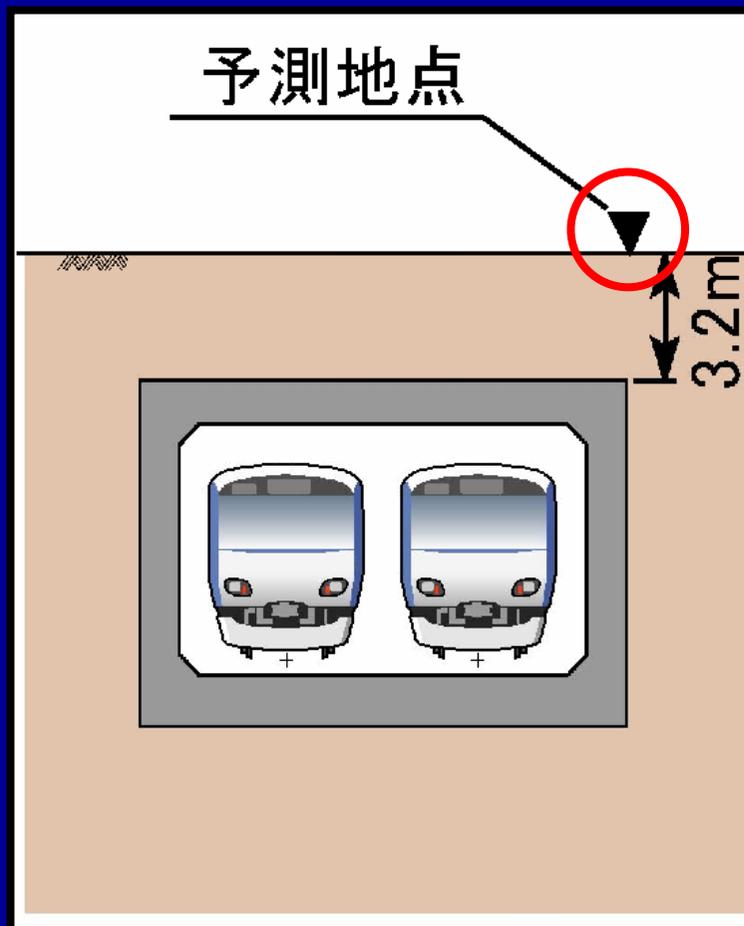


凡 例

▼ 鉄道振動予測地点(地盤上)

予測断面図

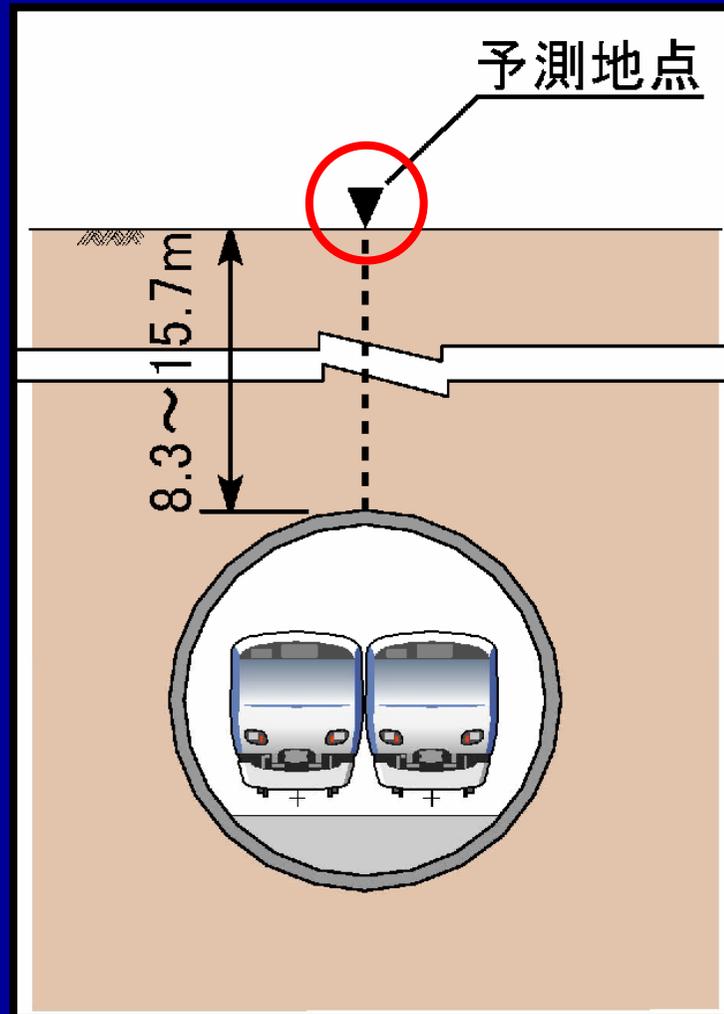
② 保土ヶ谷区西谷町



凡 例

▼ 鉄道振動予測地点(地盤上)

予測断面図



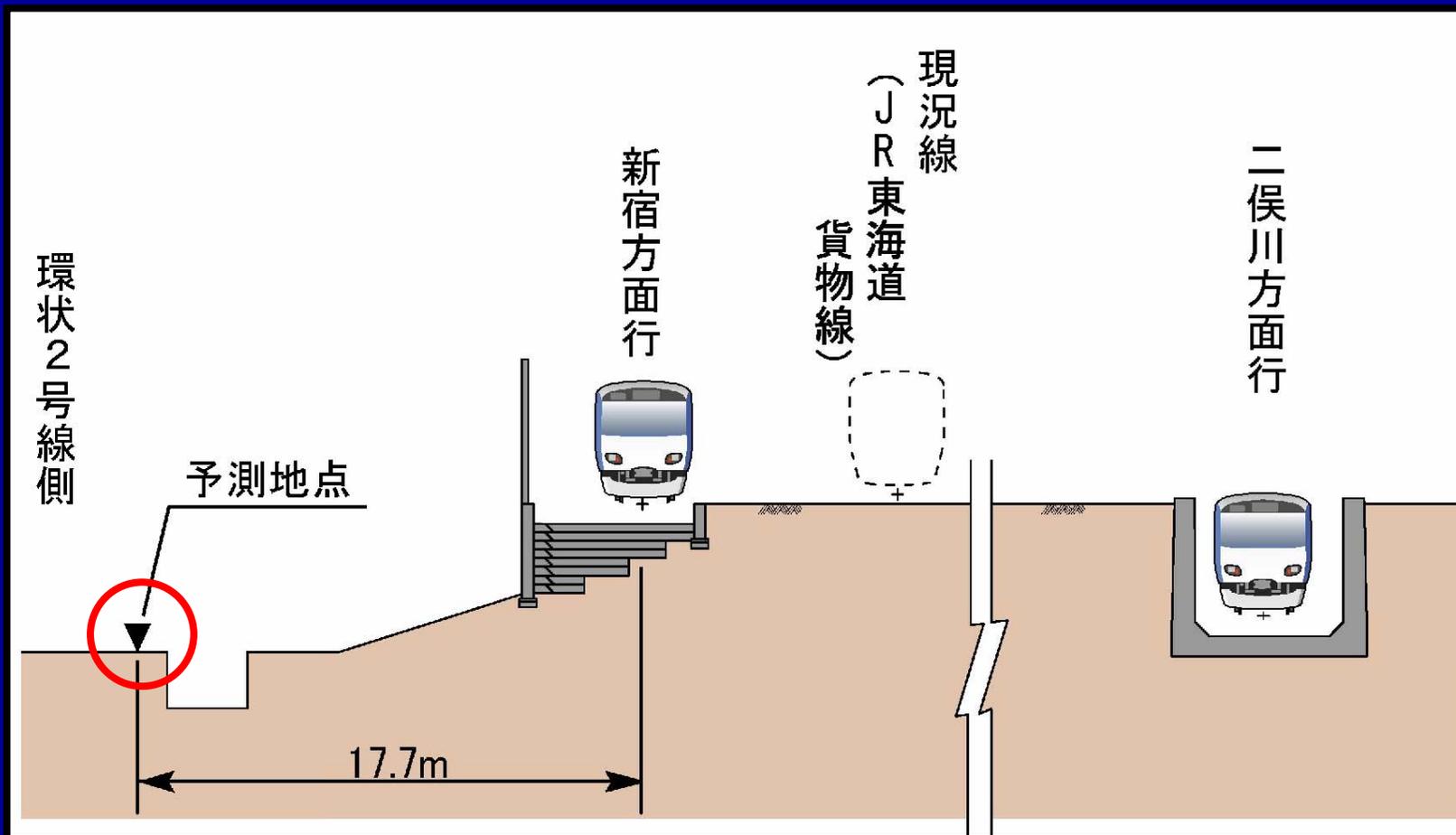
- ③保土ヶ谷区西谷町
- ④保土ヶ谷区東川島町
- ⑤神奈川区羽沢南二丁目

凡 例

▼ 鉄道振動予測地点(地盤上)

予測断面図

⑥羽沢駅付近



凡 例

▼ 鉄道振動予測地点(地盤上)

予測結果（列車の走行に伴う振動）

単位：デシベル

予測地点	予測結果	環境保全目標※
① 西谷駅付近	63	65
② 西谷町	63	
③ 西谷町	54	
④ 東川島町	51	
⑤ 羽沢南二丁目	51	
⑥ 羽沢駅付近	51	

※ 環境保全目標：「鉄道公害の防止対策について」（昭和49年横浜市公害対策審議会建議）における保全目標値

環境保全のための措置の例 (振動(供用時))

レール、車両の適切な点検・整備を行い、性能を維持することで過度な振動を防止します。

